

競技・審判上の確認（改訂版）

競技委員長 嵯峨 亘 道

審判委員長 川崎 尚子

1 競技規則について

- (1) 2026年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。また、大会使用球は、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「V300W」、女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手をコンポジションシートにエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者を（校長が認める当該校の職員、又は校長から引率を委嘱された「部活動指導員」※学校教育法施行規則第78条の2に示された者）を届け出なければならない。
- (2) 構成メンバー14人のうち、外国人留学生は2名までとし、コートへの出場はそのうちの1名に限る。
- (3) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャー・選手の変更がある場合、最終エントリー届に記載し競技委員長に届けること。
- (4) 各試合のエントリーは、第1試合はプロトコール30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに、競技本部に用意された各チームのコンポジションメンバーシートによりエントリーすること。試合が連続する場合は、試合後すみやかに提出すること。コンポジションメンバーとは、試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の職員、又は外部指導者とする。外部指導者は、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。マネージャーは外部指導者・当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。なお、引率責任者及びトレーナーはベンチに入ることはできない（ベンチ外にトレーナー席を設ける）。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。なお、ラインジャッジの判定に影響がある場所には立たないこと。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、コンポジションメンバー以外の登録されたメンバーから最大2名までをクイック・モップとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モップは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モップが各コートに用意されているモップを使っ

てコートワイピングを行う。ただし、クイック・モップがいない場合は、競技者あるいはベンチスタッフが行って良い。

5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストの着用を指示することがある。
- (3) 本大会は、アシスタント・スコアラーを参加チームが担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ・プレーヤーは以下のとおり。
 - ①登録12名の場合、リベロ・プレーヤーの人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
 - ②登録13名及び14名の場合、リベロ・プレーヤーの人数は2名でなければならない。

6 試合と試合前の練習について

- (1) 開場時間は全日程8:00とする。また1日目・2日目の第1試合練習開始は8:20とする。最終日については準備ができ次第とする。
- (2) 全日程、第1試合の開始時刻は9:00とする。
- (3) 大会2日目までアップフロアは設定されていない。ただし最終日のみ函館アリーナのサブアリーナについてボールを使用したウォーミング・アップを認める。
- (4) チームがその日の初戦の場合、アリーナにて、コート・ボール・ネットを使ったウォーミング・アップを第1試合は40分間、第2試合以降は30分間（ただし公式練習を含む）行う。その他の場所においてはランニング・ストレッチ等のみとし、ボールを使うことはできない。
- (5) 1日に2試合以上ある場合、試合が連続しない時は前の試合が終わってからおおむね10分後、連続する場合は20分後にプロトコールを開始する。
- (6) コート練習の開始については、競技委員や審判委員の指示に従うこと。（コートチェック後）
- (7) 公式練習には、コンポジションメンバー以外の登録メンバーもボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。 ※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。
- (8) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方フリーゾーンまたはチームベンチ前にてウォームアップを行う。

7 コートオフィシャルについて

- (1) コートオフィシャルはスコアラー1名、アシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名の計9名とする。なお、**初日・2日目の第1試合および、3日目の全ての試合の補助役員は当番校・地元（函館）支部の生徒が行う。**
 - ①初日（予選グループ戦）第2試合以降については、勝ちチームとする。
 - ②2日目（決勝トーナメント戦）第2試合以降については、負けチームが行う。なお、上記以外でも当番校・地元函館協会・大会審判員が行うことがある。

8 その他

- (1) ビデオ撮影について、チームベンチ側（ベンチ・アップゾーン等）での撮影は禁止とする。